



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月13日

上場会社名 株式会社 鴨川グランドホテル 上場取引所 東
コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL)04(7094)5581
四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	869	9.8	△17	—	△33	—	△25	—
27年3月期第1四半期	791	△0.2	△56	—	△68	—	△22	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△2.85	—
27年3月期第1四半期	△2.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	6,366	819	12.9	24.56
27年3月期	6,489	837	12.9	26.58

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 819百万円 27年3月期 837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(A種優先株式)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,000	4.1	80	32.3	35	18.4	30	△43.5	3.35
通期	3,850	3.8	120	198.7	30	—	20	△41.3	2.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期1Q	10,453,920株	27年3月期	10,453,920株
28年3月期1Q	1,511,412株	27年3月期	1,511,412株
28年3月期1Q	8,942,508株	27年3月期1Q	10,287,671株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、円安の継続や株価の堅調な推移と企業業績の好調等により緩やかな回復基調が続いております。一方、ギリシャ問題や中国経済の減速、新興国経済の減速への警戒感等、先行き不透明な要因として残っております。

リゾートホテル業界におきましても、円安の影響で海外旅行が伸び悩む中、国内旅行は景気回復による旅行需要の回復と訪日外国人客の増加等により、前年以上の水準で推移しております。しかしながら、太平洋沿岸部の地域におきましては依然として風評被害は続いております。

そのような状況の中で当社は、販売力の強化と収益力の回復を主要課題として取組んで参りました。販売力強化の一環として前期に実施致しました鴨川グランドホテルの露天風呂の増設と大浴場の改築による効果が現れつつあります。また、ビジネスホテルは国内需要が旺盛なことから高稼働を維持し、その他事業所もインターネットでの販路拡大や価格政策等新たな営業手法の導入が成果を上げつつあります。

その結果、当第1四半期会計期間の営業収益は869百万円と前年同四半期と比べ77百万円(9.8%)の増収となり、営業損失17百万円(前年同四半期は56百万円の損失)、経常損失33百万円(前年同四半期は68百万円の損失)、四半期純損失25百万円(前年同四半期は22百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ123百万円減少し、6,366百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ106百万円減少し、1,071百万円となりました。これは主に、現金及び預金が68百万円及び売掛金が51百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ17百万円減少し、5,295百万円となりました。これは主に、投資その他の資産(その他)が18百万円増加したものの、建物が46百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ104百万円減少し、4,821百万円となりました。これは主に、未払金が31百万円、未払費用が16百万円及び短期借入金が15百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ0百万円減少し、725百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ18百万円減少し、819百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、鴨川グランドホテルの露天風呂増設や大浴場改修効果等で増収となりました。第2四半期は、夏季シーズンを迎え、主力であるリゾートホテルの稼働が最も高くなる期間であり、昨年と同様の天候であれば第2四半期累計期間及び通期業績共に当初予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	818,786	750,420
売掛金	177,253	125,955
たな卸資産	46,166	47,481
未収入金	80,854	85,550
その他	57,589	64,397
貸倒引当金	△2,940	△2,410
流動資産合計	1,177,708	1,071,394
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,121,835	12,127,558
減価償却累計額	△8,478,911	△8,531,353
建物(純額)	3,642,923	3,596,205
構築物	513,208	513,208
減価償却累計額	△462,855	△463,604
構築物(純額)	50,353	49,604
機械及び装置	227,796	227,940
減価償却累計額	△186,110	△186,935
機械及び装置(純額)	41,685	41,004
車両運搬具	27,182	27,182
減価償却累計額	△25,281	△25,385
車両運搬具(純額)	1,900	1,796
工具、器具及び備品	836,579	838,332
減価償却累計額	△744,603	△745,341
工具、器具及び備品(純額)	91,976	92,990
土地	1,076,231	1,076,231
リース資産	91,586	91,586
減価償却累計額	△62,724	△64,659
リース資産(純額)	28,861	26,927
建設仮勘定	-	2,388
有形固定資産合計	4,933,932	4,887,147
無形固定資産		
投資その他の資産	45,742	45,348
投資有価証券	137,015	148,362
差入保証金	169,700	169,700
保険積立金	718	718
その他	40,374	59,008
貸倒引当金	△15,199	△15,199
投資その他の資産合計	332,609	362,591
固定資産合計	5,312,284	5,295,087
資産合計	6,489,992	6,366,482

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,779	90,768
短期借入金	3,841,450	3,825,731
1年内返済予定の長期借入金	527,782	518,495
未払金	42,794	11,662
未払費用	223,913	206,990
未払法人税等	14,678	4,289
未払消費税等	36,283	29,115
賞与引当金	29,800	15,031
その他	124,752	119,558
流動負債合計	4,926,233	4,821,643
固定負債		
繰延税金負債	18,253	21,799
退職給付引当金	137,620	140,315
役員退職慰労引当金	17,791	17,791
長期預り保証金	514,362	510,672
その他	38,043	34,588
固定負債合計	726,070	725,167
負債合計	5,652,303	5,546,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△321,936	△347,454
自己株式	△4,335	△4,335
株主資本合計	799,077	773,559
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,610	46,112
評価・換算差額等合計	38,610	46,112
純資産合計	837,688	819,671
負債純資産合計	6,489,992	6,366,482

（2）四半期損益計算書

第1四半期累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）
営業収益	791,987	869,839
営業費用	848,677	887,134
営業損失（△）	△56,690	△17,295
営業外収益		
受取保険金	2,333	316
助成金収入	37	580
その他	9,049	5,478
営業外収益合計	11,420	6,374
営業外費用		
支払利息	23,065	22,322
その他	14	53
営業外費用合計	23,079	22,375
経常損失（△）	△68,349	△33,296
特別利益		
受取補償金	48,549	10,130
特別利益合計	48,549	10,130
特別損失		
固定資産除却損	718	244
特別損失合計	718	244
税引前四半期純損失（△）	△20,518	△23,410
法人税、住民税及び事業税	2,108	2,108
法人税等合計	2,108	2,108
四半期純損失（△）	△22,627	△25,518

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません

（セグメント情報等）

I 前第1四半期累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	633,479	129,086	762,565	29,421	791,987	—	791,987
セグメント損失（△）	△30,269	△4,978	△35,248	△4,751	△39,999	△16,691	△56,690

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△16,691千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	710,335	130,858	841,193	28,645	869,839	—	869,839
セグメント利益 又は損失（△）	3,264	△928	2,336	△2,710	△373	△16,921	△17,295

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△16,921千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期会計期間より、従来「リゾート関連」に含まれていた「アジュールノ宮」について事業用資産から販売用不動産への切替に伴い、「その他」に変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法より作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。